

波紋 Ripple

発行者：森松株式会社

編集者：大石耕平

松井宣和

小原龍一

伊藤雅典

創刊号：1985年7月（昭和60年7月）

小坂美香

伊東義弥

No. 320号

平成24年2月
2012 Feb.

森松恒例のヨガ！！



信念会

平成24年1月5日、恒例の「元気が出る信念会」を栄ラグナスイートホテルにて開催致しました。来場者の方々の御席は昨年同様抽選にて決定です。今年も司会はプロ司会者の経験を持つ森奈津子さんが担当し、スムーズに進行させることが出来ました。また、ジャンケン大会を行い賞品としてiPadを3名の方にプレゼントさせていただきました、大変盛り上がりしました。㈱クロカワケイティ黒川社長の差し入れの「スズメバチの焼酎漬け」料理とお酒で会場内も和んできた頃、「ヨガ教室」を高塚奈緒先生の指導でおこない、終始とても和気藹々とした様子でした。また、各テーブルで塩ビを使った新商品を皆さんで考えていただきました。いろんな発想が出て勉強になりました。お忙しい中、ご出席頂きました来場者の皆様、本当に有難うございました。

来場者の方々のご協力、社員全員の協力のお陰で、無事に閉会することが出来ました。本当に有難うございました。

「元気が出る信念会」実行委員長

飲めば力強る！
スズメバチ酒



日記の効用

社長 森 直樹



5年日記を付けております。1ページが1日で5段に分かれており、上から1年目、2年目、と書くようになっております。つまり1年前の自分は何をしていたか、さらにその前は、と振り返る事が出来て、年を重ねるほどに味わい深くなっています。毎日欠かさず付けていたわけではありませんが、今年でいよいよ5年目を迎えました。お陰で今後も習慣となりそうです。振り返ってみると、様々な事に気づきます。

・筆記の状態が意外と変化している一字一字しつかり書かれている時もあれば、走り書きで乱れている時もあります。その時の自分の状況で文字の書き方が変わってくると思いますが、その時期の精神状態が文字に大きく表れています。自分の成長（停滞）具合が見取れる。昔に悩んでいたことは既に解決していたり、はたまたまだ同じように悩んでいる場合もあります。これは今の自分を知る上でも非常に参考になります。とはいえ同じ様な悩みに囚われている自分を発見すると情けなくなりますが。過去と現在の自分を比較できることが日記の面白いところだと思います。森松では一日の仕事の終わりに「日報」を社内のネットワークに配信しますが、これも過去の自分の仕事、そしてそれに対する自分の考え方が見て取れる、日記のような効用も有ります。過去を振り返ることにあまり時間を割くべきでは無いと思いますが、時折過去の事を確認する為に日報を検索すると、これまた当時の自分がよく見えてきます。現在はブログという方法もありますが、人が見ることを前提としているので内容が限定されます。日記は自分自身に向けて書くのでストレートに書くことが出来、またなんといつても手書きであることが当時の状態を知るうえで視覚的に把握しやすいです。まだ日記を付けたことの無い方は一度日記を付けてみてはいかがでしょうか。



「デイズニーと三越で学んできた

日本人にしかできない気づかいの習慣」

上田比呂志…著

安井 浩二



著者は、老舗料亭で生まれ、三越で働き、本場アメリカのデイズニーに出向したという経歴の持主です。「料亭では心」を、「三越ではスキル」を、「デイズニーでは仕組みを」学んだとのこと。タイトルの「日本人にしかできない気づかい」とは？それは、お金で買えるものでも、売るものでもありません。サービスではなく、相手が「欲しい」と言う前にその気持ちを汲みとり、さりげない行動で示す。相手のことを思い、自分がしたいからそうする。そうして他人のことを慮る（おもんばかる…周囲の状況などをよくよく考える。）習慣は日本人にしかないという事でした。（例…他人のものでも脱いだ履物を揃えることができる）その気づかいを高めるには「意識」が必要。例えば、周囲を見渡そうとする意識。人の気持ちを察しようとする意識。そうした意識のアンテナを立てておくことが、気づかいの能力に直結し、その意識の差がそのまま気づかいの差となるという事です。この本では、言葉で表現しづらい「気づかい」という意味を著書の実体験の話を交えながら、また一節ごとに偉人たちの名言も数多く紹介されています。しかも、何でも理解しやすいかと思ったら、素晴らしいチャンスが潜んでいます。しかし、それは、強烈な目的意識を持った人の目にしか写らないものなのです。「稲盛和夫」（誰のための仕事か考えていますか？ 何のための仕事か考えていますか？）他に人に要求することを先ず自分に要求せよ「武者小路実篤」（目下の人にも気づかいはできていますか？人の気づかいに応えられていきますか？）自分の喜びを追求する行為が、他人の幸福への奉仕につながるものでありたい。「本田宗一郎」（気づかいとサービスを取り違えていませんか？自分も楽しもうとしていますか？）



「マネーボール」

マイケル・ルイス…著

松井 宣和



メジャーリーグ・オークランドアスレチックスの経営と強さの秘密に迫るものだった。アスレチックスの（GM）は、1巡目指名を受けた候補生だった。自身の性格も災いして、球団を転々として引退。チームのスタツプとして働くようになる。選手の年俸高騰が著しいメジャーリーグにおいて、チームを強化するには莫大な投資が必要だ。というのが常識となっていた。その結果、資金の豊富なチームは優秀な選手を買い、球団間の実力差は資金力に比例して開く。その中で、アスレチックスは異常なチームであった。他球団からは評価されていない選手をトレード。FA選手・ドラフト利用し、選手の年俸総額はメジャー・30球団のうちで常に下から数えた方が早い貧乏球団である。毎年のように優秀な選手がFAで移転して、毎年のように優秀な選手がFAで移籍していくのに対して、アスレチックスは勝ちつづけている。旧来と全く異なる選手の評価法と理論があり異端だと物理を問われるが、ゆるぎない信念が実を結び、ヤンキースの3分の1の年俸にかかわらず成績はほぼ同等の結果を出している。やり方次第で見方を変えると勉強になりました。



大同紙工印刷株式会社様との謝恩会



1月某日、大同紙工印刷様との謝恩会を名古屋マリオットアソシアにて両社総勢20名で盛大に行いました。

日頃の感謝を込めて催されたこの会を通じ、日頃お会いすることのない現場の方や、東京で営業されている方などと親睦を深めることができ、両社間の関係がより強固なものとなったと思います。

散歩

西垣 浩司

(製造部)



最近、歩いていないなあと感じて、昨年の冬頃から息子と毎週日曜日に、近所に散歩しに出かけています。私にとっては健康維持やダイエットなることが目的でした。

最初は家の近くを回って帰宅するだけで辛い一日でしたが、今年になってから寒いことから自転車に切り替え、河川敷などのんびりと景色やお年寄りによるゲートボールを眺めながら探索する日々が続いています。

その日の晩は足が疲れているので、お風呂で足をマッサージをします。特に足首・ふくらはぎを重点に揉み、疲れた筋肉の部分を刺激しています。そしてゆっくりお風呂に浸かったら、冷えないうちに床に入りたつぷり睡眠をとって体を休ませて、翌朝は気持ちよく目覚めることができ、元気な体作りができるようになりました。

私のベスト1作品

伊藤 雅典 (製造部)



去年は、家内と一緒に14回ほど映画館へ足を運びました。洋画・邦画といろいろ観ましたが、一番良かった映画は「トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン」でした。作品としては3作目ですが、今回初めての3D映像の作品でした。画面を観ていると動きの激しさに目がついていかないような感じでしたが、迫力は凄まじいものがありました。監督のマイケル・ベイ氏は2D映像で製作するつもりでしたが、ジェームス・キャメロンの強い勧めもあり、あの「アバター」を撮った3Dヒュージョン・カメラ・システムにて撮影が行われたそうです。そのお陰も有ってか、興行収入も40億円を突破しており、1作目の記録を抜いてシリーズ最高となったそうです。また、3D・2D映像同時上映されていたが、3Dでの鑑賞率は91%であり、「アバター」の数値を上回っていたとのことでした。

しかし自分として一番気になっていたことはヒロイン役ミカエラを演じたミーガン・フォックスが、第2作公開時のインタビュの発言でユダヤ系アメリカ人であるスピルバーグの怒りをもって降板。ロージー・ハンティントン・ホワイトリがミカエラに代わるヒロインとしてカーリーを演じていたことでした。大ファンの私としてはがっかりでした。世界的に興行収入成績を見てみると①ハリ・ポッター/死の秘宝PART2②トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン③パイレーツ・オブ・カリビアン/生命の泉というような結果でした。ハリ・ポッターは今回8作目でやっと完結ということですが、私としては1作目・2作目をDVDにて鑑賞しましたが、もう着いていけないという感じです。しかし興行収入的に見ると、とてつもない作品と言わざるを得ません。と言うことはパイレーツ・オブ・カリビアンも4作目ということですから、上位3作はすべてシリーズ物ということでした。私にとってトランスフォーマーは凄かった映画ベスト1でしたが、一番感動した映画は「リアル・スチール」と言う映画でした。話としては、リモコンで遠隔操作されたロボット同士が戦う「ロボット格闘技」が大流行。プロボクサーからロボット格闘技の世界に身を転じた主人公は、スクラップ寸前のロボットを闘試合に出場させて一攫千金を夢見ていましたが、そんなある日、離婚のため離れて暮らしていた11歳の息子を預かることになり、慣れない父子の共同生活が始まりますが、廃工場で旧式ロボットを発見したことから、2人のロボット格闘技を通じて父子が絆を取り戻していく姿を描くSF映画です。スポ根映画の好きな私にとっては、大変感動した作品でした。最後、リング上で彼らが操作するロボットが勝ったシーンを観たときは思わず目頭が熱くなりました。初めから、何となく終わりが分かっているような作品ですが、安心して観ていられるところが良いですね。

2月の予定

4日(土) 第1土曜日休み

11日(土) 第2土曜日休み

15日(水) 村田恒夫さん誕生日

18日(土) 第3土曜日休み

19日(日) 牧野光昌さん誕生日

24日(金) 生産会議 12時〜13時

CS向上会議 14時10分〜15時

光田昭男さん誕生日

25日(土) 第4土曜日休み

28日(火) 藤木方子さん誕生日



今月のオススメ!

近年、目覚ましい勢いで普及を遂げたスマートフォン!我が社でもスマートフォンへの切り替えが奨励されています。当然私も持っています。(iPhone)

そこで、ただスマートフォンを持つだけでは勿体ない!是非とも使っていたきたいアプリを紹介させていただきます。

昨年の春以降地震が頻発し、東京大学地震研究所が、マグニチュード(M)7級の首都直下型地震が発生する確率は4年以内で70%とする衝撃の研究結果をまとめを発表しました。

そんな時代だからこそ情報が大事!

「ゆれくる」



これは緊急地震速報

通知アプリです。地震発生時、設定した予測地点に到達する震度と時間を通知してくれるスグレモノ。

アプリを起動していなくても、通知を受信することができますので重宝します。健康と安全は自分持ち。早い情報が命です。

大石

編集長交代のご挨拶

この度約2年間務めさせて頂いた波紋編集長を大石さんにバトンタッチすることとなりました。歴代の編集長は平均して約2年間の任期なので、タイミング的に良かったと思います。ちょうど私が編集長を担当してから紙面からデジタルに移行した頃でいままでのやり方(紙面)だけでなくPを活用して作成することが前提となり、Pの知識に乏しい私にとって「1号」を完成させるのに大変な労力と時間が必要でした。いまもそうですが...



今号から担当になりました大石です。今までの波紋の良いところを継承しつつも、新しい視点でいろんな記事を取り入れてやっていこうと考えております。やるからには何事も楽しく取り組んみ、社内報の役割である、「風通しのよい活力ある社内づくり」を目指して励んでいく次第です。前任の小原さんにもアドバイスを頂きながら、発行していきます。

